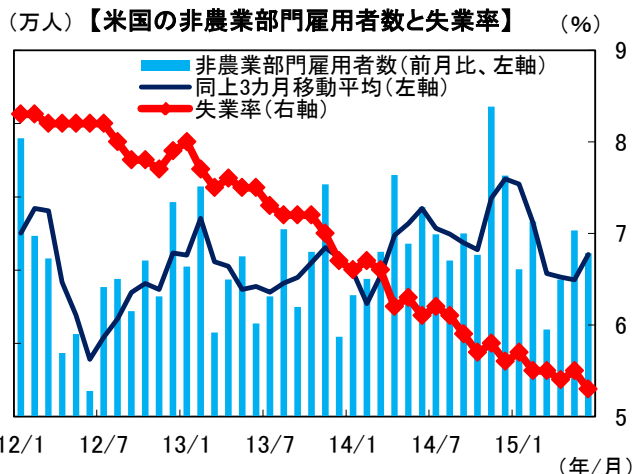


今日のトピック 最近の指標から見る米国経済(2015年7月) 生産、雇用、消費の好循環を維持

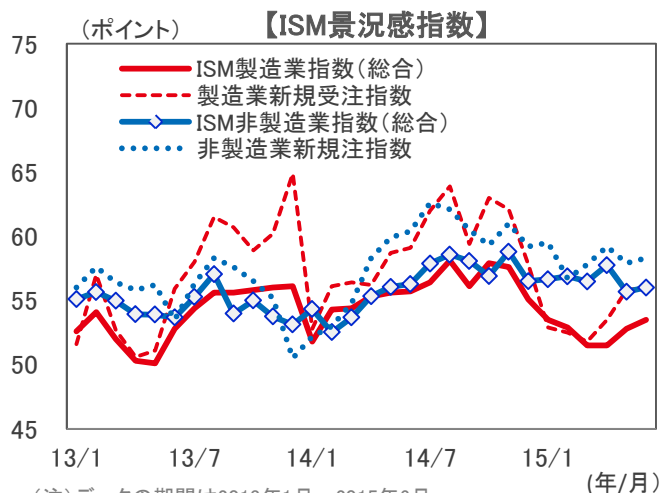
ポイント1 雇用者数は22.3万人増 失業率は5.3%に低下

- 6月の非農業部門雇用者数は前月比22.3万人の増加となりました。市場予想(ブルームバーグ集計)の同23.3万人増をやや下回りましたが、月平均20万人超の雇用増加ペースを維持しました。
- 6月の失業率は5.3%と、5月の5.5%から0.2ポイント改善しました。他方、賃金上昇率は前年比2.0%と引き続き伸び悩みましたが、労働需給が改善しつつあるため、今年後半には増加の勢いを強めると予想されます。



ポイント2 企業景況感堅調 製造業、非製造業ともに上昇

- 6月のISM製造業景況感指数は、総合指数が前月比0.7ポイント上昇の53.5ポイントとなりました。新規受注指数と在庫指数の差が拡大基調を維持しており、在庫を上回るペースで需要が伸びていることを示しています。
- 一方、6月のISM非製造業景況感指数は、総合指数が前月比0.3ポイント上昇の56.0ポイントとなりました。事業活動指数、売上高の動向を示唆する新規受注指数が60前後の高い水準にあり、非製造業の活動が力強く拡大していることを示しています。



今後の展開 景気は順調に拡大、年後半には利上げ開始の見通し

- 6月の小売売上高は前月比0.3%減となりましたが、5月に大幅に伸びた反動と考えられます。
- 雇用・所得の順調な拡大を背景に、消費は今後、持ち直す可能性が高く、年後半の米経済は実質3%程度の成長が見込まれます。
- 景気の改善を受け、年後半に利上げが開始されると見られます。
- ただし、物価が落ち着いていることなどから、利上げのペースは緩やかなものに止まると予想されます。

ここも
チェック! 2015年07月08日 米国のISM景況感指数(2015年6月)
2015年07月03日 米国の雇用統計(2015年6月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。